※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　工業科（ファッション工学科）

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	実教出版　工業技術基礎						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２班編成にて授業を行います。課題を通してデザインの基本的技法、グループワークを通してデザイン表現を学習する「デザイン分野」、ラスタ系のソフトの基本的操作を学習する「ＰＣ分野」に分かれ隔週で実技の授業を行います。
「デザイン分野」では基礎的技術から空間認識力も養い、またグループワークを活用し、社会や生活における問題発見、解決能力も身に付けましょう。「ＰＣ分野」ではファッションデザインの表現方法、伝達方法を学びましょう。

２　学習の到達目標

・デザインにおける立体構成・平面構成の基礎的技術を、課題数を重ねることで習得する。
・グループワークを行いながら、問題解決型授業を通してデザインの発想方法、表現方法の習得を目指し、主体的に取り組む態度を養う。
・ラスタ系ソフトの基本的操作方法を理解し、PC を活用し、ファッションデザインの独創的発想方法の習得を目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	デザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、活用し、現代社会における工業の意義や役割を理解している。	デザインに関する諸課題の改善・向上をめざして思考を深め、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	デザインに関する課題について関心をもち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
学期	PC分野	・ フォトショップの基本的ツールによる作品制作(移動ツール、切り取り系ツール、色調補正、レイヤー等)	a: 基本的ツールを理解し、使用する技術がある。 b: 基本的ツールに対して、生徒自ら操作方法を判断しようとしている。 c: 作品に対して積極的なツールの活用をおこなっている	制作活動	制作活動	制作活動 作品
		・ インターネットを活用した情報収集の活用を学ぶ ・ コンセプトに基づいた、マスクによるコラージュ制作と発表	a: インターネット活用した情報収集ができる。マスクを活用技術がある。 b: コラージュにおけるコンセプトを考えることができる。コンセプトに合わせた情報収集し、思案、精査することができる。 c: 制作に対して情報を積極的に収集し制作することができる。	制作活動 作品	制作活動 保存データ 作品	制作活動 保存データ 作品
		・ インターネットを活用し、ファッションデザインコラージュ制作 ・ ブランドコンセプトの構築とコレクション制作	a: ファッションデザインにおけるシルエットを、フォトショップを使用しおこなえる。 b: デザインをブランドコンセプトと照らし合わせ思案・精査ｋができる。 c: 制作に対して情報を積極的に検討し制作することするができる。	制作活動 作品	制作活動 保存データ 作品	制作活動 保存データ 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度